

Title	序文
Sub Title	
Author	松本, 正夫
Publisher	三田哲學會
Publication year	1971
Jtitle	哲學 No.58 (1971. 12) ,p.A1- A2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	名誉教授宮崎友愛先生記念論文集
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000058-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序 文

宮崎友愛教授は 1930 年本塾の教職につき、今日にいたる 40 余年間、研究と教育に従事され、本年 4 月、停年退職されると同時に名誉教授に任ぜられた。本学会は橋本孝先生の後継会長として本会の発展に専念された教授に今回のことありしを祝し、知友門下の稿を集め、ここに特集記念号を刊行した次第である。

教授はカントの形式主義倫理学をブレンタノ、マックス・シェラー、ニコライ・ハルトマン等の所説を参考として批判する、実質的価値倫理学に近い立場を採られており、その堅実な学風をもって多くの後進研究者を育成された。また文学部長、大学院文学研究科委員長、慶応義塾評議員として義塾の事に当られ、日本道德教育学会常任理事、日本倫理学会評議員、文部省学術審議会委員など、対外的にも大いに活躍されているが、日頃変らぬ温容とともに、その無私にして謙虚誠実な人格によって、ひろく内外に尊敬を集めておられることも、至極当然のことと思われる。

川合貞一先生、橋本孝先生について義塾の倫理学専攻科に今日の隆盛を齎らされた先生の功績はもちろん大きい。しかしひ

ろく各種専攻科の教員学生を網羅する三田哲学会としてのもっと広い見地からも先生の功績を讃えざるを得ないのである。この意味で「哲学」第 58 集全誌を敢えて先生に献呈しようとした私達の微意を汲みとっていただければ誠に倅わせである。

1971 年 12 月

松 本 正 夫